

Ⅱ 「安心」への取組

(1) 食品表示の適正化

実施する取組	担当課室	令和元年度取り組み状況 (取組目標を設定したものは自己評価内容)	達成度 (自己評価)
① 「食品表示推進者育成講習会」を開催し、正しい食品表示に取り組む食品表示推進者を育成します。	食品・生活衛生課	食品表示推進者育成講習会を5回開催し、食品関係事業者380名が受講した。	達成
2 食品・生活衛生課及び各県立保健所に食品表示相談窓口を設置し、事業者等からの相談に対応します。	食品・生活衛生課	食品・生活衛生課及び各県立保健所(支所)に、相談窓口を設置するとともに、関係課室と連携の上、相談対応を行った。令和元年度の相談件数は、県全体で1238件であり、前年度に比べ455件増であった。	(達成)
3 食品制度に関するパンフレットなどを作成し、正しい知識の普及啓発を行います。	食品・生活衛生課	「知っておきたい食品表示」パンフレットをイベント等や講習会で配布した。また、消費者向けの食品表示講習会を行った。	(達成)
④ 食品関係事業者(加工・製造者)の監視指導時に、食品表示についても点検・指導を行います。	食品・生活衛生課	食品等事業者(加工・製造者)の監視指導時において、食品の表示を確認し、必要な場合に改善等の指導を行った。	達成
⑤ 「食品表示ウォッチャー」を設置し、食品の表示状況を消費者の視点から監視します。	食品・生活衛生課	30名のウォッチャーを設置し、年間で608店舗、5,819回モニタリング活動があった。随時報告が42件あり、うち24件は疑義情報として受理し、店舗に指導等を行った。	概ね達成
6 「食品表示110番制度」を運営し、県民等からの疑問や相談に対応するとともに、適正表示を推進します。	食品・生活衛生課	食品表示に関する疑問・相談に対し、表示制度等を分かり易く説明した。また、不適正な表示が疑われる情報等は、必要に応じて事業者に調査等を実施し、適正表示の徹底を指導した。	(達成)
7 関係機関と連携し、県内食品関係事業者への食品表示法等関連法規の周知及び巡回調査、適正表示の指導等を行います。	食品・生活衛生課	市町村や近畿農政局と連携し、食品表示関連法規の周知や巡回調査、適正表示の指導等を行った。令和元年度は56件あり、食の安全・安心わかやまホームページで公表した。	(達成)
8 医薬品医療機器等法に違反する食品表示がないように、パンフレットやインターネットなどの広告について監視指導を行います。	薬務課	437件の広告を監視し、医薬品医療機器等法に違反する広告(1件)について、指導し、改善させた。	(達成)
9 広告指導の指導事例を共有化することで、相談・監視体制を強化します。	薬務課	広告監視指導に関する担当者会議を開催し、県内業者が健康食品に医薬品的効能効果を記載していた事例及び他自治体がインターネット監視において確認した違反事例について情報を共有した。	(達成)

目標管理項目		29年度	30年度	R元年度	(未達成の場合のみ)未達成の原因及び今後の方向性
①	講習会の受講者数(累計)	目標値	—	3,200人	
		実績値	3,086人	3,436人	
2	迅速な相談対応	目標値			
		実績値			
3	県民が参加するイベント等での啓発	目標値			
		実績値			
④	監視指導時の食品表示についての点検・指導割合	目標値	—	100%	
		実績値	100%	100%	
⑤	モニタリングの回数	目標値	—	6,500回/年	
		実績値	4,442回/年	4,772回/年	
6	迅速かつ適切な対応	目標値			
		実績値			
7	調査件数の公表	目標値			
		実績値			
8	迅速な改善指導	目標値			
		実績値			
9	広告監視担当者会議における情報共有	目標値			
		実績値			

(2) 人の健康に役立つ食品表示の推進

実施する取組		担当課室	令和元年度取り組み状況 (取組目標を設定したものは自己評価内容)			達成度 (自己評価)
⑩	「わかやま健康食品製造業者連絡協議会」の研修を開催し、健康食品の表示に対する事業者の意識を高めます。	食品・生活衛生課	健康食品による危害の未然防止、表示広告及び販売方法の適正化を目的として研修会を開催した。健康増進法及び景品表示法違反事例と規制事項など、コンプライアンスのために取り組むべきポイントの説明を行った。			達成
⑪	企業ニーズに基づき、表示対象となる食品の機能性成分の分析方法を拡充します。	工業技術センター	カンキツ類に含まれているナリルチン及びイタドリに含まれているルチン、ヒペロシド、イソケルセチン、レイノウトリン、ケルシトリン、スピレオシド及びビスペラトロールの定量を行った。			達成
目標管理項目			29年度	30年度	R元年度	(未達成の場合のみ)未達成の原因及び今後の方向性
⑩	アンケートで「有意義であった」とした人の割合	目標値	—	—	90%以上	
		実績値	100%	100%	100%	
⑪	受託試験件数	目標値			6件	
		実績値	4件	3件	8件	

(3) コンプライアンスの向上

実施する取組		担当課室	令和元年度取り組み状況 (取組目標を設定したものは自己評価内容)			達成度 (自己評価)
⑫	「食品表示に係るコンプライアンス講習会」を開催し、正しい食品表示に取り組む食品事業者を育成します。	食品・生活衛生課	講習会を開催し、食品関係事業者59名が受講した。			達成
13	廃棄食品の不正流通防止のため産業廃棄物処理業者等への立入り検査を行います。	循環型社会推進課	食料品製造業等から排出される動植物性残さに係る産業廃棄物処分業者等に対し9件の立入り検査を実施し、廃棄物の処理や保管、委託契約等の状況について確認・指導した。			(達成)
目標管理項目			29年度	30年度	R元年度	(未達成の場合のみ)未達成の原因及び今後の方向性
⑫	講習会の受講者数(累計)	目標値	—	—	850人	
		実績値	841人	935人	994人	
13	適正処理の啓発・指導の強化	目標値				
		実績値				

(4) 生産から販売までの食品情報を公開するしくみ (トレーサビリティシステム)の導入と普及

実施する取組		担当課室	令和元年度取り組み状況 (取組目標を設定したものは自己評価内容)			達成度 (自己評価)
⑭	米穀事業者に対して、取引の記録や産地情報の伝達を啓発します。	果樹園芸課	国から疑義情報の回付のあった事業者に対し、法に基づく事業者の責務について説明・指導を行った。			達成
⑮	牛トレーサビリティ制度に基づき、耳標の適正な管理を指導します。	畜産課	トレーサビリティ制度について、関係機関と連絡調整・意見交換を実施すると共に、牛飼養農家55戸に対して耳標の適正な管理を指導した。			達成
⑯	商品に関する情報や企業姿勢が正しく消費者に伝わるための取組を食品関係事業者等に啓発します。	食品流通課	HACCP導入支援のための「新食品流通基準対応セミナー」と現地指導、「HACCP制度化に向けた実践講座」を開催した。また、商談会に出店する事業者向けの「百貨店バイヤーが求める商品情報セミナー」を開催し、安全安心のモノづくりや、お客様とのコミュニケーションの取り方を研修した。			達成
目標管理項目			29年度	30年度	R元年度	(未達成の場合のみ)未達成の原因及び今後の方向性
⑭	地域米穀事業者の違反件数	目標値	—	—	0件	
		実績値	0件	0件	0件	
⑮	県内牛飼養農家の指導割合	目標値	—	—	100%	
		実績値	100%	100%	100%	
⑯	研修会等の参加企業数	目標値	—	—	40社	
		実績値	31社	45社	66社	

(5) 食に関する情報交換の推進

実施する取組	担当課室	令和元年度取り組み状況 (取組目標を設定したものは自己評価内容)	達成度 (自己評価)
⑰ 「食の安全推進会議」を活用し、県組織を横断した食の安全・安心施策を推進します。	食品・生活衛生課	第5次アクションプランの平成30年度実施結果の報告を行った。また、第6次アクションプラン(令和2年度～4年度)の作成を行った。	概ね達成
⑱ 「食品衛生管理指導計画」の策定前に県民のご意見を募集し、計画に反映させます。	食品・生活衛生課	令和2年度食品衛生監視指導計画(案)についてパブリックコメントを実施し、広く意見を求めた。	達成
⑲ 「食の安全県民会議」を開催します。	食品・生活衛生課	8月、2月に会議を開催し、次期「食の安全・安心確保のためのアクションプラン」の策定や食品衛生監視指導計画等について協議を行った。	未達成
⑳ 「出張！県政おはなし講座」等に講師を派遣し、食の安全・安心に関する取組を紹介し、理解を深めて頂くとともに、ご意見を頂きます。	食品・生活衛生課	「出張！県政おはなし講座」等の講師派遣や、県民を対象に研修会を開催し、食品表示や健康食品について、計283名に説明を行った。	達成
㉑ 食の安全・安心ホームページ「食の安全・安心わかやま」から、情報の発信と質問の受付を行います。	食品・生活衛生課	講習会やセミナーの開催案内、検査結果の公表など、計20回程度更新した。	未達成
㉒ 食品に関する情報を消費者や事業者、県が共有し、それぞれの立場で食の安全・安心を確保するための取組を進めることに役立てていくため、「食の安全・安心メールマガジン」による情報発信を行います。	食品・生活衛生課	月に1回の定期配信に加え、食中毒注意報など、3回の号外を配信した。また、食育イベントで、メールマガジン登録キャンペーンを行った。	未達成
㉓ 「食の安全シンポジウム」を開催し、消費者をはじめ、食に携わる方々がみんなで考える場を設けます。	食品・生活衛生課	ゲノム編集食品に関するシンポジウムを開催し、86名が受講した。	達成
㉔ 県内各地で「食の安全タウンミーティング」を開催し、「食」に関する情報提供や、ご意見をいただく場を設けます。	食品・生活衛生課	令和2年1月「健康食品って？～意外と知らない健康食品のこと～」をテーマに開催し、20名が参加した。	未達成
㉕ 食品関係事業者との協働により、県民の食の安全・安心に関する知識や理解を深めるためのリスクコミュニケーション等の取組を推進します。	食品・生活衛生課	「夏休み食の安全親子教室」、「食の安全タウンミーティング」及び「食の安全シンポジウム」を開催し、計140名が参加した。	未達成
㉖ 食の安全サポーターを募集し、食の安全に関する情報交換を行います。	食品・生活衛生課	「食の安全シンポジウム」や「食の安全タウンミーティング」を通じた情報交換を行った。	未達成
27 安全・安心な「和歌山県産」ブランドの構築に取り組みます。	食品流通課	商談会やイベント、和歌山県産品のPRの機会に「おいしい健康わかやま」をキャッチフレーズに、安全で安心、おいしい、機能性に富んでいる和歌山県産ブランドの広報活動を展開した。	(達成)

目標管理項目			29年度	30年度	R元年度	(未達成の場合のみ)未達成の原因及び今後の方向性
⑰	アクションプラン取組の達成割合	目標値	—	—	95%	/
		実績値	78.0%	87.7%	87.9%	
⑱	意見募集回数	目標値	—	—	1回	/
		実績値	1回	1回	1回	
⑲	県民会議の開催回数	目標値	—	—	3回	今後も開催に関しては必要な議題等の精査を行いながら適切に行っていく。
		実績値	2回	2回	2回	
㉒	アンケートで「有意義であった」以上と回答した人の割合	目標値	—	—	90%以上	/
		実績値	100.0%	91.2%	97%	
㉓	ホームページアクセス件数	目標値	—	—	8,000件	ホームページの内容について随時更新を行ったが、アクセス数の増加には繋がらなかった。今後は講習会や講演会等の場を通じてホームページの存在をより広く周知するとともに、体験教室など人気のある事業については、ホームページを通じて申込みを受ける等、アクセス数を増やす工夫を検討する。
		実績値	6,013件	—	5,220件	
㉔	メールマガジン購読登録者数(累計)	目標値	—	—	800件	数値目標には届かなかったものの、昨年度から156人新規登録があったので、今後も定期的な情報発信及び登録キャンペーンを行っていく。
		実績値	356件	430件	586人	

㉓	アンケートで「有意義であった」とした人の割合	目標値	—	—	90%以上	
		実績値	88%	—	93%	
㉔	アンケートで「有意義であった」とした人の割合	目標値	—	—	90%以上	県民にとってより関心が高いテーマを検討し、情報交換会を開催する。
		実績値	79%	97%	65%	
㉕	実施取組数	目標値	—	—	100取組	夏休み食の安全教室、食の安全タウンミーティング、食の安全サポーターについて取組を継続していく。
		実績値	8取組	55取組	49取組	
㉖	情報交換の回数	目標値	—	—	7回	食の安全サポーター募集とともに、テーマを検討し、情報提供を実施していく。
		実績値	3回	4回	3回	
27	商談会やイベントにおけるPR	目標値				
		実績値				

(6) 認証制度の充実

実施する取組	担当課室	令和元年度取り組み状況 (取組目標を設定したものは自己評価内容)	達成度 (自己評価)
㉘ 「ふるさと認証食品認証制度」により、安心できる特産加工食品を認証します。	農業環境・鳥獣害対策室	3品目、35食品を認証(新規:1食品、更新34食品)。 認証品目数(累計)は5品目、認証食品数(R2.4.1現在)は260食品。 ①梅干し・調味梅干し:236食品、②味付けぼん酢:2食品、③だいにんの漬物:5食品、④果実ジュース:15食品、⑤黒大豆・黒豆煮:2食品	達成
29 ふるさと認証食品認証制度の概要と認証食品等をホームページで公表します。	農業環境・鳥獣害対策室	制度概要、認証食品及び認証食品を製造する者を県ホームページにて公表しており、新規分については、認証期間開始日に追加公表した。	(達成)
30 安全・安心を基本に、「和歌山らしさ」「和歌山ならでは」の優れた県産品を推奨認定します。	企業振興課	プレミアム和歌山新規・更新認定申請のあった県産品について、食品表示法、薬機法等、食の安全・安心に関する法令審査を実施。法令違反や不適切な表示等があった場合は、是正させたうえで認定を行った。新規100商品、更新155商品を認定した。	(達成)

目標管理項目		29年度	30年度	R元年度	(未達成の場合のみ)未達成の原因及び今後の方向性
㉘	認証品目数(累計)	目標値	—	—	
	実績値	5品目	5品目	5品目	
29	迅速な公表	目標値			
	実績値				
30	安全・安心な県産品の認定	目標値			
	実績値				

(7) 環境にやさしい食品づくり

実施する取組	担当課室	令和元年度取り組み状況 (取組目標を設定したものは自己評価内容)	達成度 (自己評価)
① 化学肥料と化学合成農薬を使用しない、または県慣行使用量の半分に以下に減らして栽培された農産物の生産拡大を推進します。	農業環境・鳥獣害対策室	・環境保全型農業直接支援対策交付金(環直交付金)の取組面積: 70.28ha ・有機JAS認証の取組面積-環直交付金との重複面積: 41.68ha ・特別栽培農産物認証の取組面積-環直交付金との重複面積: 165.26ha	達成
② 土づくりや化学肥料・化学合成農薬の使用の削減に取り組む「エコファーマー」の新規認定数を拡大します。	農業環境・鳥獣害対策室	エコ農業を目指す生産者として、海草:1人、伊都:3人、有田:5人、日高:11人、西牟婁:4人、東牟婁2人を新規に認定した。	概ね達成
③ 環境保全型農業の実践程度を把握するための指標及び評価手法を開発します。	農業試験場	イチゴ、エンドウ等13作物のIPM(総合的病害虫管理)実践指標に加え、新たにスイカのIPM実践指標を作成した。	達成
④ IPM防除の実践や環境保全型農業の推進に関する技術研修を行います。	果樹試験場	果樹試験場研究成果発表会等、カンキツの主要病害虫の生態やIPMに基づいた防除対策についての研修会を計5回実施した。(参加者140名)	達成
⑤ 養殖漁場における環境モニタリング調査を実施します。	水産試験場	令和元年5月8日および令和元年10月9日に、養殖漁場の環境指標となる水質、底質、底棲生物等を7地点で調査した。	達成
36 漁場改善計画に則した養殖漁場の改善に努めます。	資源管理課	漁場改善計画を立てた漁場については、計画に沿った適切な管理が行われた。	(達成)

目標管理項目		29年度	30年度	R元年度	(未達成の場合のみ)未達成の原因及び今後の方向性	
①	認証取組面積(累計)	目標値	—	—	270ha	/
	実績値	275ha	277ha	277ha		
②	エコファーマー新規認定数	目標値	—	—	30件	/
	実績値	19件	62件	26件		
③	総合的病害虫・雑草管理実践指標	目標値	—	—	13作物	/
	実績値	12作物	13作物	14作物		
④	研修会の参加人数	目標値	—	—	140人	/
	実績値	131人	190人	140人		
⑤	調査実施地点数	目標値	—	—	7地点	/
	実績値	7地点	7地点	7地点		
36	漁場改善計画の履行確認	目標値	—	—	—	/
	実績値	—	—	—	—	